

事務事業マネジメントシート(平成29年度実績と平成30年度計画)

平成30年12月27日更新

事務事業名	空家対策等事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連				
総合計画	政策	4	生活環境の健康	所属部	総務部	課長名	木永 和博
体系	施策	18	住環境の充実	所属課	交通防災課	担当者名	高来 登
	施策の柱	56	環境衛生の充実	所属班	交通防災班	(内線)	1244
予算科目	会計一般	款2	項1	目1	事業連番11670	根拠法令	成果優先度評価結果 : ⑫ コスト削減優先度評価結果 : ⑥
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 29年度で終了 <input type="checkbox"/> 29年度から開始		事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度			

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	空家等対策の推進に関する特別措置法の施行に伴い、空家等対策業務委託により相談窓口を設置し、調査分析から管理改修、有効活用をサポートし空き家の利活用促進を図る。
【業務の流れ】	契約事務、検査、支払い、協議会の運営
【主な予算費目】	報酬・旅費・委託費
【意見や要望】	議会から、空家対策の推進について急ぐよう意見が上がっている。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 29年度実績(29年度に行った主な活動) (DO)	30年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
・空家対策計画の策定・協議会の開催	・空家等対策業務委託の実施 ・空家協議会の開催
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: 空家等対策業務委託	空家等対策業務委託による、空き家バンク開設費用の減額。
イ: 協議会開催回数	(単位)
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
(1) 空家等	→ ア: 空家件数 件
	→ イ: 協議会開催回数 回
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
(1) 把握する	→ ア: 特定空家件数 件
(2) 空家対策計画を策定する	→ イ: 空き家の利活用件数 件
*③成果指標設定の理由と30年度目標値設定の根拠	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移	単位	27年度	28年度	29年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込	
① 活動指標	ア 式	0	1	1	1	1	1	1	1	
	イ 回	0	6	5	2	5	5	5	5	
② 対象指標	ア 件	284	265	200	265	200	200	200	200	
	イ 件									
③ 成果指標	ア 件	0	0	10	0	10	10	10	10	
	イ 件	0	0	1	0	1	1	1	1	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	一般財源	千円	6,018	3,097	3,758	2,129	3,240	5,672	5,672
		(A) 事業費計	千円	6,018	3,097	3,758	2,129	3,240	5,672	5,672
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	0	1	0	4	0	0	0
(B) 人件費計	延べ業務時間	時間	0	110	0	530	0	0	0	
	(B) 人件費計	千円	0	0	0	2,096	0	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	6,018	3,097	3,758	4,225	3,240	5,672	5,672	

事務事業名	空家対策等事業	所属部	総務部	所属課	交通防災課
-------	---------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は29年度の事後評価、ただし複数年度事業は29年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①29年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②30年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 市民の住環境と市域の価値向上をさせるため、民間企業との積極的な連携により目標を達成するものである。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 市民及び関係機関に空家問題について周知を行うことで、空家の利活用及び管理の促進が進むため向上の余地はある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 空家対策事業については昨今の国家的課題であり、類似事業は無く、統廃合・連携はできない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 相談窓口業務・調査業務・法律業務・管理業務・空家バンク運営については空家の利活用を推進する上で必要不可欠な事業となるため削減の余地はない。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最低限の人数で対応しており削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 空家問題に取り組むことで、市域の防犯対策・景観・環境・コミュニティ・地域の価値向上が見込まれるため公平公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 特定空家等については現地調査、立入調査、特定空家の認定、助言・指導、勧告、命令、行政代執行など行政が担うべき事業であり役割分担は適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

平成28年度に策定した合志市空家等対策計画に基づき、空き家の相談窓口等設置し空き家対策を行った

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>司法書士会と連携し空き家相談会を継続、また宅建協会及び商工会等関係機関と連携し、空き家調査業務から管理改修までサポートし空き家の有効活用に繋げる。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						